

(株)アルビオンの研究拠点構想を支援

藤里町に化粧品の研究施設整備を検討していた「株式会社アルビオン」の小林章一社長が、12月11日当町を訪れ、石岡町長に今後の計画や方針を伝え、改めて協力を要請しました。

株式会社アルビオンは、白神山地のふもとである藤里町において、白神の植生を生かした化粧品原料となる植物の委託栽培を行うほか、研究拠点を設置して、簡易の薬草・ハーブ等自社植物園を作り独自美容成分の開発を行う予定です。また、当初は委託栽培からの開始を予定していましたが、先に研究施設の拠点化を図り、順次委託栽培農地の検討を行うことになりました。

この事業は、アルビオンの研究開発力強化の一環として、秋田県白神エリアに植物関連研究の拠点を設置し、化粧品における有用な植物成分の探索を行うことと、合わせて、アルビオンCSR活動として、地方の活性化、自然保護への貢献を目的としています。(CSR活動=社会的責任活動)

藤里町はこれらの申し出を受けて、旧米田保育園施設はどうかと打診したところ、社内一致でイメージに合っているとの回答をいただき、現状のままでの貸付であれば協力できるのではないかとということで、数回にわたる現地調査に同行して協議をつめてきました。

◆会社概要◆

株式会社アルビオン 代表取締役社長 小林章一
設立：1956年3月2日 資本金：7億6098万円
従業員：2,840名 本社：東京都中央区銀座
事業内容：高級化粧品の製造・販売
化粧品全般の開発、製造及び販売など



◆提示条件◆

①(仮)白神研究拠点に関して

- ◎定められた施設、土地の賃借料及び、月額5万円程度の管理委託費用を負担する。
- ◎原則として修繕費用(浄化槽、建物塗装などを含む)を負担する。
- ◎賃料以外の公共料金(水道、電気、ガス、電話など)はすべて負担する。
- ◎賃借契約は5年とする。5年以降に関しては適宜相談するものとする。
- ◎委託栽培農地の契約や、農地委託管理費用等については協議の上決定する。

②地域への貢献

- ・1回の派遣は研究員2名、2泊3日で夏季月4回(5~11月)、冬季月2回(11~4月)
合計年間36回、延べ72名が、東京からあきた北空港まで航空機利用
- ・当面の宿泊場所として藤里町内の宿泊施設を利用する。(144泊分)

③初期投資費用

- ・研究室改修費用及び研究施設物品に関しては、可能な限り町内店舗を利用する。

◆受入条件◆

1. 藤里町としては、事業概要、提示条件等から、藤里町の地域振興に資するものと判断し、当初平成22年4月1日から5年間の無償貸付としたい。
2. 本構想の実現、推進のために、できる限りの協力をしたいと考えている。

「アルビオン」とは「白い国」を意味しており、「白」は女性の美の原点であるとの考え方から、理想を追求する名前として社名の由来としているそうです。そのため、「白神」というキーワードは非常に重要であり、白神山地のふもと藤里町は、研究拠点を設置するための最有力候補地となりました。

農業行政との関連もあり、秋田県との産官連携をとりながら計画を遂行していきます。